

# 得意？ 苦手？ 発見シート(国語編)

なまえ

使用開始

年 月 日  
( 年生から)

子どもたち一人ひとりに合わせた学習を進めるためには、「どんな支援が必要なのか」を把握しておくことが有効です。ある子どもにとっては有効な支援が、別の子どもには有効ではないということもあります。A～Cについてふだんの学習や生活の様子から気づく点や気になる点をチェックし、事例を参考にしながら個別の指導・支援を検討する材料にしてください。

## A 「聞く」「話す」「読む」「書く」「推論する」

学習と直接関わる領域です。ふだんの様子から「苦手」と感じられる項目に☑を入れて、「得意」「苦手」の差にも注目しながら支援を工夫しましょう。

- 聞く  話や授業を聞いて理解すること  
 大事な連絡を正確に聞き取ること
- 話す  自分の気持ちを話したり発表したりすること  
 順序立ててわかりやすく話すこと  
 スムーズに会話を続けること
- 読む  文字・漢字を正確に捉えること、読むこと  
 行を追いつながりながら文章をスムーズに読むこと  
 文章を読みながら内容を理解すること
- 書く  文字を正確に書くこと  
 黒板の文字などを時間内に書き写すこと  
 ノートや解答欄の枠に合わせて書くこと  
 日記や作文を書くこと
- 推論する  文章の意味を理解・イメージすること  
 設問の意図を理解して答えること

「得意」「苦手」の差がある場合、苦手(支援が必要)なほうを○で囲んでください。

文字・文章を読むこと ↔ 文字・文章を書くこと

話す・聞くこと ↔ 読む・書くこと

文章を読むこと ↔ 文章の内容をイメージすること

文字・文章を書き写すこと ↔ 作文など、自分のことばで考えて書くこと

子どもたちは…



聞き取れなかったけれど、恥ずかしいから黙っていたいよう

字がゆがんで見えるけど、みんなそんなのかな？



どこで区切って読んだらいいかわからない

ノートを取ろうと思っていたのに、黒板の字が消されちゃった

作文に書きたいことはあるけど、書くのが大変



もう少し、ゆっくり話してほしい



急に指されても何から話したらよいかわからない



読める漢字なのにうまく書けない



### Aの苦手が目立つ子への理解と支援

学習の基礎を支える「聞く・話す・読む・書く」や「推論する」ことに苦手さがあります。一生懸命取り組もうとしても、読む・書くことの負担が大きくなり、学習が進みにくいこともあります。個人差も大きいので、「会話はスムーズだが、読み書きが苦手」「文字・文章を書き写すことはできるが、自分のことばで考えて書くことが苦手」など、本人の「得意」「苦手」の差をよく理解し、苦手なほうを子どもの理解度に合わせて練習しつつ得意なほうを伸ばし、学習意欲を高めましょう。

## B 社会性やコミュニケーション・こだわりや想像力

社会性やコミュニケーション、物事の捉え方や感じ方、想像力と関わる領域です。自分だけのやり方が決まっていたり不安が強かったりして学習が進みにくいこともあります。苦手と感じられる項目、気になる項目に☑を入れて、本人に合う支援を工夫しましょう。

- 友達と共通の話題で会話を続けることが苦手  
 人の気持ちを想像することが苦手  
 自分の気持ちを伝えることや表現することが苦手  
 わからないことを質問したり説明したりすることが苦手

気になるところ

- 誤りを訂正したくない(間違いたくない気持ちが強い)ところ  
 ことばどおりに受け取る(書いていないことはイメージしにくい)ところ  
 全体より細かい部分に注目しやすいところ  
 指示や設問のパターンが変わると不安になるところ  
 ことばの使い方、学習方法に自分のルールやこだわりがあるところ  
 特定の刺激(光や音など)に敏感であるところ

子どもたちは…



「聞きながら話す」なんて難しい

問題のパターンが変わるとわからない



何と話しかけたらよいかわからない



人の気持ちは見えないからわからない

文章に書いていないことはわからない



### Bの苦手が目立つ子への理解と支援

目には見えないものをイメージしたり想像したりすることに苦手さがあります。物語を一生懸命読んでいても、登場人物の気持ちがわかりにくかったり文章に直接書かれていないことを想像しにくかったりします。本人がわかりやすいように具体物やイラストなどを使って示したり説明したりしながら支援します。読み書きに本人の「こだわり」がある場合にはある程度尊重し、「敏感さ」「不安」を軽減できる声かけをしたり環境を整えたりして、安心して学習できるようにしましょう。

## C 注意・集中や気持ちのコントロール

注意・集中や気持ちのコントロールに関わる領域です。枠にとらわれずユニークで楽しい子どもも多いのですが、コントロールが課題になることもあります。苦手と感じられる項目、気になる項目に☑を入れて、本人に合う支援を工夫しましょう。

- 学習にさっと取りかかることが苦手  
 待つことや、落ち着いて座っていることが苦手  
 課題に集中して最後までやりとげることが苦手  
 注意深く見直しをすることが苦手

気になるところ(または、よいところ)

- 文字や文章の読み間違い・書き間違いが目立つところ  
 とても豊かでユニークな発想をするところ  
 忘れ物、なくし物が目立つところ  
 調子がよいときとそうでないときの差が大きいところ  
 イライラや落ち込んだ気持ちが長引いてしまうところ  
 見えるものや聞こえる音などに敏感に反応するところ

子どもたちは…



また、筆箱を忘れました…

説明を聞くより、早くやりたい

電池切れ。もうできない

「ていねいに読む」ってどういうこと？

急にイライラしてきた！



### Cの苦手が目立つ子への理解と支援

一定時間、一つのことに集中することや、注意力をコントロールすることが苦手です。発想が豊かで楽しい子どもも多いのですが、急ぎすぎたり、急に止まったり、やる気があってもミスが多くて安定しないこともあります。落ち着いて取り組める環境を整え、学習時間や読んだり書いたりする量を調整しながら支援します。「できた」ことはすぐにほめ、「できた」を一つひとつ積み重ねていきましょう。



ガイドブック 事例①～⑧へ